田代安定「八重山島巡検日誌巻八」から

安渓遊地編『廃村続出の時代』（南方新社）の口絵に用いたページの解読例（進行中）

▢は読めないもの、赤字は疑問があるもの

此者成屋村「ソラー」ガ「ブザゝ」[未詳]ナリト云フ

此処ニ居住セシヨリ已ニ十年ニナル

ト云フ

此屋幅九尺弱奥行一間許

實ニ奇屋也

屋内ハ高サ六寸許ノ竹ユカニソ　中

ユルリヲヲキ其中ニ「ヘウタン」「ナベ」

「テゴ」四五個鉄ナベ二ツ、ヅザイカキ

五方個ヲ釣ル

此内ハンドウハ▢一ノヘウタンナリ

　　　　　　　　　　　　水ニ▢▢ル

此屋内ニ一時間許休ヒボウイモ[[1]](#footnote-1)身ヲ煮

テ喰フ

此室内イハユル環堵蕭然[[2]](#footnote-2)只▢翁見▢

ソシテ舟ヲ出シ帆ヲ揚テ去ル波荒

シ東ニ行カゼニフク舟甚ダ速シ

ソレ▢ニ一二町ニ▢左側即チ北ノ海中ニ

小赤岩突立ス其ヲシカブ岩[ソーレー[[3]](#footnote-3)]

ト云フ

此辺左ハ「ハテルマ山」右は入西山[[4]](#footnote-4)ナリト云フ

右に小川アリヒルギ生シテ湾入ス

ヒミヂ川[[5]](#footnote-5)ト云フナカラ川[[6]](#footnote-6)ハ真東ニスゝ

ムナリ

左ニアル西表山ノ名ハスベテ「イヂュラ」[[7]](#footnote-7)

山ト云フ左ハ「タマザラ[[8]](#footnote-8)山」ト云フ

十一時ニ右ヤドリヲ発シ同十分ニ川口

ニ至ル此左側山北方ヲ「ヒドリ[[9]](#footnote-9)」ト云フ

此内ニ田地アリト云フ見ヘズ

其田ニヵ▢アリ一ハコヘモリ[[10]](#footnote-10)田一ハヒケ

ト[[11]](#footnote-11)田ト云フ一面ヒルギノ平廣林ナリ

其奥ニ屏立スル高岳ヲ

「シケーラ[[12]](#footnote-12)岳」ト云フ此川口ノ右側ナル

南側ヲ「ダイシ[[13]](#footnote-13)」ト云フ山脚ニテ

方一丈許ハ石ヲアラハシ赤ガケ二ツノ由

小木生ス

此川口ノ幅凡ソ七十間許アリ

1. ボーウン、ダイジョの一品種。棒のように長い。 [↑](#footnote-ref-1)
2. 陶淵明「五柳先生伝」 [↑](#footnote-ref-2)
3. シカブソーヤー、西表島の地名と生物文化データベース地名番号DB24、アジサシ岩礁の意。<https://aiiriomote.wixsite.com/mysite>　から表と地図にリンク [↑](#footnote-ref-3)
4. 西表山の誤記か [↑](#footnote-ref-4)
5. ピーミチカーラ、DB261 [↑](#footnote-ref-5)
6. 仲良川、ナーラミナトゥ [↑](#footnote-ref-6)
7. ウジェラか、DB132 [↑](#footnote-ref-7)
8. タマザラ、DB695 [↑](#footnote-ref-8)
9. ピドゥリ、DB270 [↑](#footnote-ref-9)
10. 未詳 [↑](#footnote-ref-10)
11. 未詳 [↑](#footnote-ref-11)
12. シケーラ、DB668 [↑](#footnote-ref-12)
13. ダイシ、DB836 [↑](#footnote-ref-13)